

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東海労働組合

発行人 小林 光昭
編集人 高山 浩

2016年
10月1日
第378号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

東海の地から労働運動の炎を燃え上がらせよう！

J R 東海労結成25年記念大集会開催！



J R 東海労は9月25日、結成25年記念大集会を熱海ニューフジヤホテルで開催しました。集会には、組合員・OB123名が結集しました。会場には、結成以降の闘いの写真を展示し、多くの参加者が懐かしさを語り合いました。集会は、結成以降25年間の闘いを集約したオープニングビデオで始めました。

初日の講演では、J R 総連柳書記長から「J R 総連運動の強化・前進に向けて」と題し、J R 総連の課題などについて問題提起を受けました。柳書記長は、たしろかおる応援プロジェクトの総括について提起した後、J R 総連や各単組にかけられた弾圧・組織破壊攻撃を跳ね返すために闘っていく決意を語りました。そして、国鉄改革30年で問われている一つの課題として、台風によって甚大な被害を受けたJ R 北海道の再建問題について紹介しました。



佐藤初代委員長



J R 総連柳書記長

り上げよう」と訴えました。

2日目の講演では、J R 東海労初代委員長佐藤政雄さんから「J R 東海労結成の苦闘と運動の原点を確認して前進しよう」と題し、現職組合員と共に闘う決意が述べられました。佐藤さんは「権力者の国鉄改革の目的は、労働組合破壊であった。葛西副社長(当時)は、動労組合員がJ Rに残ったことが許せなかった。故松崎明さんから学んだ動労型労働運動を実践し、会社などからの弾圧・組織破壊攻撃を跳ね返してきた。これからも、現職とOBは、大いに語る」と訴えました。

フリートックでは、多くの組合員・OBの方々の運動に至るまで、労働運動にかけてきた思いなどが発言されました。懇親会では、新幹線関西の余興で盛り上がりました。そして、日頃の疲れを温泉で癒し、共に闘う仲間と深夜まで酒

夏季制服の改善勝ち取る！ 2016年度基本協約・協定改訂交渉集約

本部は9月26日13時、2016年度基本協約・協定改訂交渉を集約し、会社に妥結を通告しました。

9月15日の第8回団体交渉で会社は、協約等の改正に関する事項として、①介護に関する取扱いの変更、②育児に関する取扱いの変更、③半日単位の年休の請求手続きの変更、④専任社員の社会保険料等負担の軽減、⑤妊娠、出産、育児・介護休暇等の取得等に関するハラスメントへの対応、⑥基本協約等の別表及び条文の改訂を、制度等の改正に関する事項として、①再任用制度の新設、②制服等の見直しを回答しました。制服の見直しについては、長年にわたり要求を続けてきた結果、新幹線乗務員の夏服の着省略、在来線乗務員および駅係員の開襟シャツ(ノーネクタイ)を勝ち取ることができました。

運動にかけてきた思いなどが発言されました。懇親会では、新幹線関西の余興で盛り上がりました。そして、日頃の疲れを温泉で癒し、共に闘う仲間と深夜まで酒



木藤さん、会社の不当性を堂々証言！

ボーナスカット B・C成田本人訴訟第5回口頭弁論

新幹線地本成田委員長に対する不当なボーナスカットの取り消しを求めた本人訴訟の第5回口頭弁論が9月23日、東京地方裁判所で行われました。今裁判には、74名の組合員・OBが集まりました。

からは、中村助役と増田助役が証言台に立ちました。成田委員長の質問により、両助役ともボーナスカットの理由とされた「非違行為」がいかに出鱈目であり、恣意的に行われたのが証明されました。

裁判終了後、証人の木藤さんの慰労会を行いました。次回(第6回口頭弁論)は10月19日に開廷され、会社側より渡辺助役の証人尋問が行われます。

今裁判では、弁護士役として成田委員長が質問を行いました。原告(組合)側より木藤純宏さんが証言台に立ち、助役の「注意指導」の出鱈目さ、ボーナスカットがJR東海労働破壊策動の一貫として行われている実態を堂々と証言しました。反対尋問においても、木藤さんは会社の不当性を堂々と証言しました。

一方、被告(会社)側



リニア訴訟始まる！ 東京地裁前に250人！



沿線住民など738人の原告が国を相手取り、リニア中央新幹線の工事計画の承認取り消しを求めた「ストップ・リニア訴訟」第1回口頭弁論が9月23日、東京地方裁判所で行われました。原告やサポーター、市民団体など約250名が傍聴券を求め集まりました。JR東海は、新幹線地本

を中心に、約30名が傍聴券獲得の取り組みに参加しました。川村晃生原告団長(慶応大学名誉教授、リニア・市民ネット山梨代表)は、冒頭陳述で「私たちは、冒頭陳述によって、残土処理、水涸れ、騒音、日照、景観、電磁波など様々な被害を受ける。私たちは憲法で保障されて



いる生存権や人格権、幸福追求権を侵害される。リニアは人々を東奔西走させ、あくせく働かせる

戦争法を廃止にするぞ！

国会前に2万人以上が結集

安保関連法(戦争法)強行採決からちょうど1年の9月19日、安保関連法の廃止を求めて、全国から国会前に2万3千名を超える市民・労働者が結集しました。JR東海は、新幹線地本を中心にJR総連450名の仲間と共に参加しました。



最後に、戦争をさせない1000人委員会より行動提起があり、①市民運動で安倍政権を包囲すること、②選挙戦に勝利することが訴えられました。具体的には、①さようなら原発・戦争9・22集会への総結集、②総がかり実行委員会主催による10・6シンポジウム、

③議員会館前での10・19総がかり行動、④10・30自衛隊南スーダン派遣反対青森現地集会の開催とかが訴えられました。

新会長に福島氏選出

OB会第17回定期総会開催

JR東海労OB会は9月26日、熱海ニューフジヤホテルで第17回定期総会を開催しました。

新役員は、以下の通りです。

会長・福島一三(静岡) / 副会長・伊藤勝(新幹線)、鍋島要(静岡)、原春海(名古屋)、中崎澄男(新幹線関西) / 事務長・田中栄六(新幹線) / 事務次長・鈴木富雄(新幹線関西) / 幹事・斎藤孝紀(本部) / 顧問・宇留生泰雄

原発と戦争のない社会を！

さようなら原発・戦争大集会に参加



大集会が9月22日、東京・代々木公園で開催され、9,500名の市民・労働者などが結集しました。JR東海は、新幹線地本を中心に、JR総連500名の仲間と共に参加しました。原発事故被害者をはじめ、全国から結集した著名人や団体などからの発言がされ、原発再稼働の中止、戦争法廃止に向けた闘いを全体で確認しました。